

2020(令和2年)4月－(令和2年)6月の主な組合活動報告

(日本パウダーコーティング協同組合活動報告)

(1) 第99回理事会 2020(令和 2)年 4月24日(金) 16:00－17:00

「インターネットによるオンライン会議システム使用(Google Meet)」

理由：新型コロナウイルス感染症対応

参加人数：理事15名中 4名本人出席、11名意思確認通知対応(書面決議)

監事 3名中 1名本人出席、2名は意思確認通知対応(書面決議)

(本人出席については全員オンライン上での参加)

(議事経過の要領及びその結果)

第99回理事会は、新型コロナウイルス感染症による「緊急事態宣言」が出されたことに対して、協力すべくインターネットによるオンライン会議と意思確認通知による書面決議を使用して理事会を開催した。

(理事会書面決議に関しては定款第48条3及び4項)

当初は少人数の設定で、5名が組合事務所に集まって開催することになっていたが、会議前日になりコロナ濃厚接触者に近い方1名及び体調不良1名(風邪ぎみ)が生じたために急遽インターネットによるオンライン会議とした。インターネットによるオンラインは5名ともに会議終了までつなぐことができた。

意思確認通知に関しては2020年4月22日までに書面決議書として意思表示をいただいた。

[議事内容及びその決議結果](概略)

1. 第1号議案：組合員・賛助会員入退会の件
 賛助会員入会：(株)コーレンス 2020年(令和2年)2月付
 組合員退会：三条化工(株) 2020年(令和2年)3月31日付で退会措置
2. 第2号議案：新川理事任期途中退任と補選の件
 新川理事(ヨシモトポール(株))の任期途中退任と大坂将人氏(ヨシモトポール(株))の理事会推薦。
 (任期は新川理事の残りの1年間)
3. 第3号議案：第24期事業報告書(案)報告の件
4. 第4号議案：第25期事業計画(案)報告の件

(承認決議) 1-4号の提案に対して、理事会では全員一致で承認が得られた。

5. その他

第24回総会を少人数、委任状(代理人)及び意思確認通知による書面決議とする件(新型コロナウイルス感染症対応)

(承認決議) オンライン会議参加者全員(理事4名、監事1名)と書面による同意の意思表示を受けた理事7名、監事1名により、理事11名、監事2名の賛同を得たので当協会定款第48条の規定に基づき、当該提案を可決する旨の理事会承認が得られたものとみなされた。

次回は大阪にて第100回理事会を行うことを述べて、議長は午後5時にインターネットによるオンライン会議システム使用の理事会を閉会とした。(9月2日開催予定)

(2) 第24回総会 2020(令和 2)年 5月20日(水) 15:00－16:00

「インターネットによるオンライン会議システム使用(Google Meet)」

理由：新型コロナウイルス感染症対応

開催場所 : 東京都港区芝5-31-16YCCビル9F パウダー協会議室
参加人数 : 本人出席 8名 (インターネットによるオンライン会議システム使用)
(内、3名はパウダー協会議室に集合、5名はオンラインにて)
委任状出席 7名、書面決議出席 25名 (過半数は25)

(承認決議)

第1号議案 : 組合員・賛助会員入退会の件 賛成40で可決(過半数25)

- ・ 2019年度新規加入組合員 1社 (株)シグマ
- ・ 2019年度退会組合員 1社 三条化工(株)
- ・ 2019年度新規加入賛助会員 2社 第一実業(株)、(株)コーレンス

第2号議案 : 新川理事任期途中退任と補選の件

新川理事(ヨシモトポール(株))の任期途中の退任により、理事1名の補充選挙を行うこととし、指名推選制により行いたい旨を議場に諮ったところ、全員異議なく同意のあと、新理事候補としてヨシモトポール(株)大坂将人氏を推選、承認された。 賛成40で可決(過半数25)

第3号議案 第24期〔2020(令和2)年3月期〕報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び損失処理案承認の件 賛成40で可決(過半数25)

第4号議案 第24期事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件 賛成40で可決(過半数25)

(監事が報告した会計に関する議案又は決算関係書類に関する調査の結果の内容の概要)

監事近藤 旭より財産目録、貸借対照表、損益計算書及び損失処理案は法令及び定款に従い表示され、適合しているものと認める旨の監査報告があった。なお監事 近藤旭から同時に「当協同組合の監事は定款第28条(監事の職務)に定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されているため、業務監査権限を有していない」旨の報告があった。

以上をもって第24回通常総会の議案全ての審議を終了し午後 4時00分閉会。

(3) 「パウダーコーティング」誌2020春季号発行 4月24日付

(4) IPCO〔国際工業塗装高度化推進会議〕理事会 4月23日、6月 2日 高橋理事、福田
IPCO 総会 6月18日

理事会、総会共にインターネットによるオンライン会議システム使用(Google Meet)

(IPCO 総会議事録) IPCO には団体として加入

2020年 6月18日午後13時00分より、同社団の本店において定時社員総会を開催。

同社団の社員人数 25名

出席社員数(書面議決書による者を含む) 16名(うち書面議決9名)

第一号議案 2019(令和元年)年度の活動報告 提出資料 : 2019年度のIPC O 活動報告

第二号議案 2020(令和2年)年度社団と各委員会の目標と取組み

提出資料 : 2020年度IPC O 各推進委員会の趣旨

第三号議案 2019年度会計報告と2020年度予算計画

提出資料 : 2019年度IPC O 会計報告, 2020年度IPC O 予算計画

第一～第三号議案は共に可決、承認されました。

以上をもって本日の議案全部を終了した旨を述べ、午前14時00分閉会。

(5) 他団体の会合に関して

① 全国中小企業団体中央会(全中)及び一財)日本エルピーガス機器検査協会 ISO 審査センター審査登録運営委員会は書面審査となりました。

② この時期行われる関係団体の総会時懇親会参加に関しては全てコロナ禍により中止。

2019年(平成31年&令和元年 - 令和2年)度を振り返って

(2019年4月～2020年3月 ・ 経産統計より)

2020年 1月中下旬くらいからの新型コロナウイルス感染症禍、緊急事態宣言、自粛等大変な毎日が続きましたが、まだまだ With Corona の状況がしばらく来年まで続きそうです。

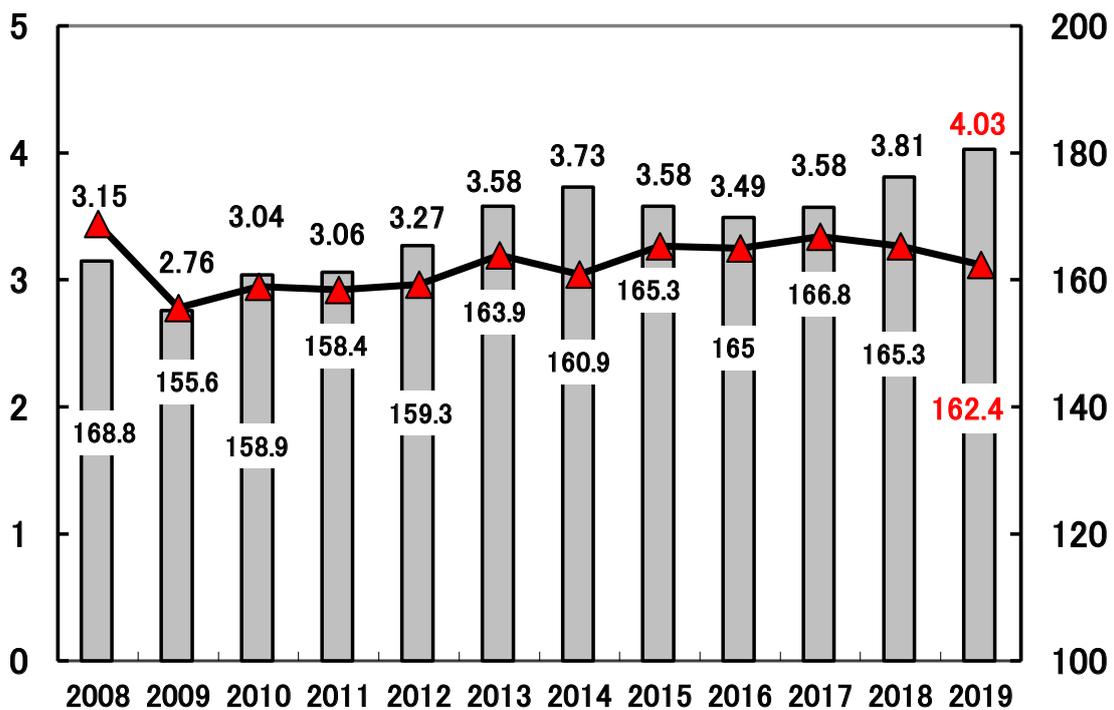
2019年(暦年・1-12月)については春季号で述べましたので、この号では年度における全塗料と粉体塗料のここ10年間の推移をご報告するのみに致します。

暦年では全塗料生産量 164.6万トン(対前年比 99.7%)、粉体塗料生産量 3.99万トン(同 106.8%)、全塗料販売量 172.5万トン(同 96.9%)、粉体塗料販売量 4.79万トン(同 96.3%)でした。年度で見ると、全塗料生産量 162.4万トン(対前年比 98.2%)、粉体塗料生産量 4.03万トン(同 105.7%)、全塗料販売量 170.0万トン(同 95.9%)、粉体塗料販売量 4.80万トン(同 97.2%)という結果でした。2020年 1-3月の新型コロナウイルス感染症の影響がとを考えましたが、まだ顕著な低下は見受けられませんでした。粉体塗料は暦年同様に生産量は少し増加で初の4万トン超えとなりました。しかし、販売量の方は逆に少し減少と輸入が少なくなっている感があります。

以下、ここ12年の年度(4-3月)における全塗料と粉体塗料の推移です。(グラフをご覧ください)

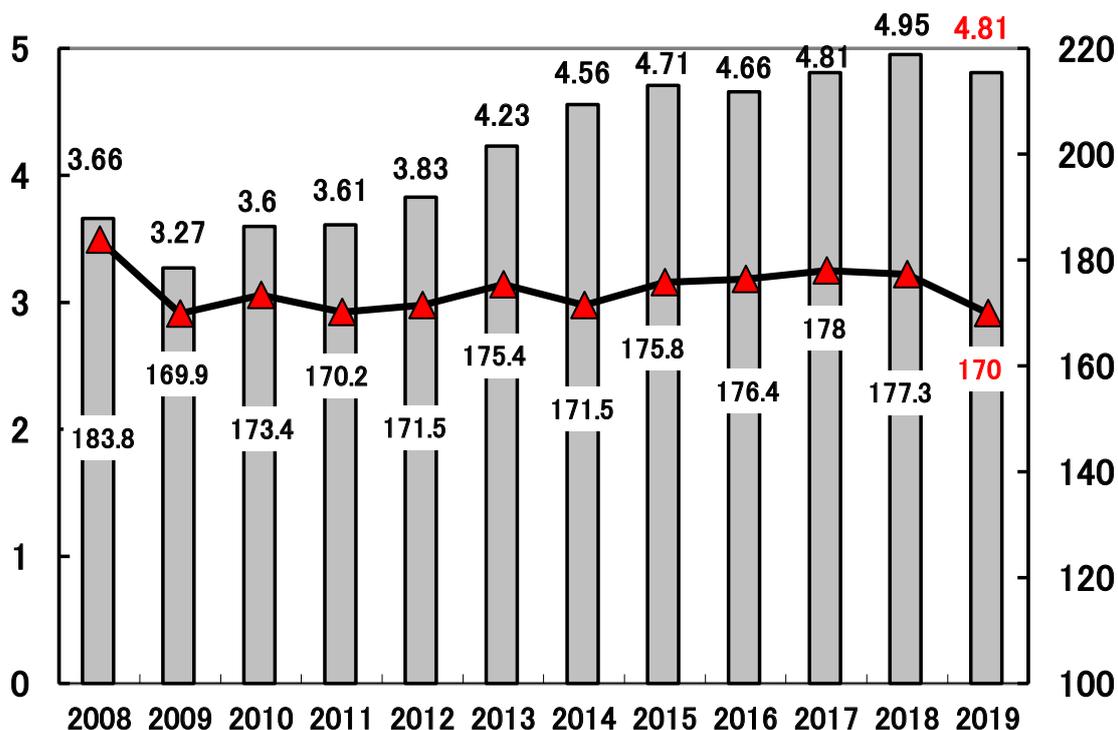
グラフ1：粉体塗料生産量と全塗料生産量の推移 年度 (万トン)

(折線:全塗料 棒:粉体塗料)

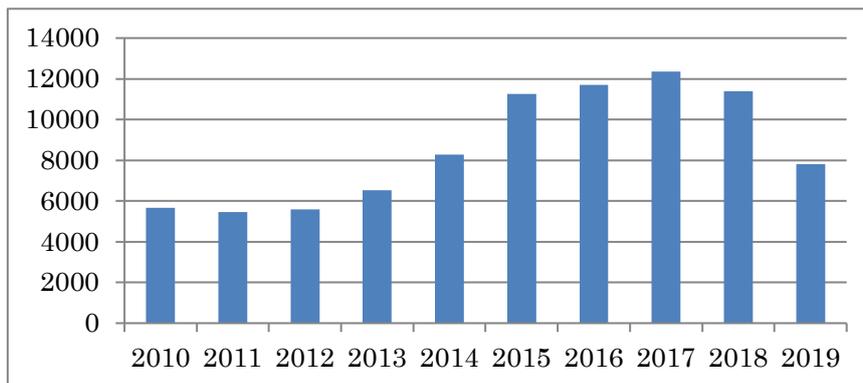


グラフ2：粉体塗料販売量と全塗料販売量の推移 年度（万トン）

(折線:全塗料 棒:粉体塗料)



参考：生産量と販売量の差（トン）



(2020年コロナ禍の4月及び5月の経産統計から) * 5月の経産統計は7/14に公表

コロナ禍により自粛ムード真ただ中の2020年4月、5月の全塗料・粉体塗料の生産量及び販売量の前年との比較を行なう。

- (4月) 全塗料 : 生産量 12.50万トンで対前年比 89%、販売量 13.24万トンで対前年比 86%
- 粉体塗料 : 生産量 3412トンで対前年比 107%、販売量 3915トンで対前年比 103%
- (5月) 全塗料 : 生産量 9.93万トンで対前年比 75%、販売量 10.52万トンで対前年比 75%
- 粉体塗料 : 生産量 2854トンで対前年比 84%、販売量 3257トンで対前年比 82%

コロナ禍、4月は全塗料の落ち込みの割に粉体塗料は健闘、5月になると全塗料は更に落ち込み、昨年の3/4である。粉体塗料も落ち込み割合は全塗料よりはまだマシであるが、同じようにかかり低下してきている。6、7月とコロナ禍は続いているので心配である。

パウダーコーティング」誌満20年を迎えて 第1回目

日本パウダーコーティング協同組合

理事長 渡邊 忠彦

担当理事 小澤 洋一

他 役員一同

日本パウダーコーティング協同組合情報誌(2015年夏季号以降は情報誌&組合誌)は2001年7月に創刊号(夏季号)として産声を上げてから本年(2020年)7月発刊の夏季号で満20年を迎えます。この冊子の運営に際しまして、広告掲載企業様、編集委員の皆様、掲載記事投稿をいただいた皆様、表紙を飾る写真や絵画を投稿いただいた皆様、読者の皆様等多数の関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

更に、30年、40年、50年とこの冊子が続くように組合としてもできる限り頑張る所存でございます。続けるにあたっては皆様方のご協力があるの賜物です。今後共引き続きよろしくご協力の程お願い申し上げます。

2009年のリーマンショック及び2011年の東日本大震災以降、その後の景気の関係か広告をお出しただけの企業様が減少して来たことにより、2013年、2014年度と続けて単独決算でマイナスとなり発刊を続けることに危機を迎えました。そこで、2015年春季号は創刊後初めて休刊として、担当役員、理事会メンバー、編集委員会やホームページにてお世話になっています MIC(マルチメディア情報協同組合)様等のご協力を得て、2015年夏季号よりホームページにアップすることによる WEB 化を行い、2015年新年号まで毎回400部印刷して来ましたが費用等をかなりの面で削減することができました。これにより広告料も1/2~1/4まで減らすことができ、年間登録企業として18社、一般登録企業(年1-2回のスポット)として6社(2015年夏季号当時)ご協力いただけることになりました。広告先に関しては年間、一般、一回のみのスポットに係わらずいつでも募集をしています。よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

また、理事会からのご意見等もあり、読みやすさを考慮する意味から2015年夏季号からWEB化するにあたり、情報誌単独から情報・組合誌として新たに立ち上げました。内容的にはこれまでの情報誌半分、組合からの報告や官公庁等よりの情報等を半分としています。今後も編集委員会等を通じより良いものにして参る所存でございます。

この20年を迎えては、20年を気づくのが遅かったことも有り、夏季号は事務局にて①歴代表紙写真(題目、作者プロフィール含めて) ②歴代広告掲載企業 ③歴代編集委員 の一覧をまとめて関係者の皆様方への謝意を表しています。

次の秋季号ではパウダー協役員や編集委員の皆様からの一言や歴代の掲載記事一覧などをまとめて掲載する予定で進めています。

今後共引き続きこの「パウダーコーティング」誌をご愛読いただけます様お願い申し上げます。

WEB化していますが、パウダー協会員の皆様の中で印刷物での送付をご希望される方は事務局までご連絡下さい。現在、印刷は事務局にて行っています。(キャノンのインク大容量型の G5030 や 6030 を導入し経費削減に努めています)

尚、2020年春季号に続きこの夏季号も会員の皆様に1社/1冊送付申し上げます。

日本パウダーコーティング協同組合 HP : www.powder-coating.or.jp

「パウダーコーティング」誌タブをクリックしてご覧ください。2015年夏季号以降の冊子が掲載されています。

2020年夏季号含めて現時点で全21冊。

1. パウダー誌の表紙を飾った写真及び絵画(絵写真)

1-1 : 表紙写真・絵の作者と題名

発刊号	作者	題名	発刊号	作者	題名
2001年創刊号～ 2004年秋季号	川嶋 久枝	能面	2014年新年号	小島 翠	横浜馬車道を歩く人々 (冬バージョン)
2005年新年号～ 2006年秋季号	小島 輝夫	この当時題目は特に付けられてなかった。	2014年春季号	小島 翠	新緑と前穂高岳
2007年新年号	岡田 智之	荏柄神社(鎌倉)	2014年夏季号	小島 翠	はげいとう
2007年春季号	岡田 智之	八重桜(新宿御苑)	2014年秋季号	小島 翠	ミラノの楽士
2007年夏季号	岡田 智之	富士山とルピナス(山中湖村)	2015年新年号	小島 翠	ファミリー・公園
2007年秋季号	岡田 智之	上加茂神社(世界文化遺産)	2015年春季号は休刊、これ以後WEB化(ホームページ上)		
2008年新年号	岡田 智之	鹿苑寺〔金閣寺〕 (世界文化遺産)	2015年夏季号	小島 輝夫	夏の甲斐駒と地蔵ヶ岳
2008年春季号	岡田 智之	横浜みなとみらい	2015年秋季号	小島 輝夫	秋色の鹿島槍ヶ岳
2008年夏季号	岡田 智之	八ヶ岳	2016年新年号	小島 輝夫	マッターホルン冬景色
2008年秋季号	岡田 智之	鎌倉(稲村ヶ崎)	2016年春季号	小島 輝夫	水芭蕉の一番花
2009年新年号	大沼 清利	朝焼けの富士	2016年夏季号	小島 輝夫	盛夏の尾瀬
2009年春季号	大沼 清利	春うらら	2016年秋季号	小島 輝夫	晩秋の上高地 (田代湿原から穂高岳)
2009年夏季号	大沼 清利	爽夏	2017年新年号	小島 輝夫	白銀の道・アルプスへ
2009年秋季号	大沼 清利	秋映(鹿島槍ヶ丘大谷原)	2017年春季号	小島 輝夫	桃源郷の春
2010年新年号	大沼 清利	秋映(朝焼けの富士山、 山中湖)	2017年夏季号	小島 輝夫	白樺林に咲くユリの花々
2010年春季号	大沼 清利	伊豆高原大室山さくらの里	2017年秋季号	小島 輝夫	秋色の白馬三山
2010年夏季号	大沼 清利	静寂の海(宮古島平安名崎)	2018年新年号	小島 輝夫	雪晴れの白馬連山
2010年秋季号	大沼 清利	幻秋(高遠城址公園)	2018年春季号	小島 輝夫	春爛漫の里
2011年新年号	古谷 信夫	真鶴岬の日の出	2018年夏季号	小島 輝夫	夏のアルペ・ディ・シウジ
2011年春季号	古谷 信夫	天空に伸びるスカイツリー	2018年秋季号	小島 輝夫	盛秋
2011年夏季号	古谷 信夫	将軍家の牡丹 (浜離宮恩賜庭園)	2019年新年号	小島 輝夫	南アルプス、観音岳 からの朝富士
2011年秋季号	古谷 信夫	秋の観音沼(南会津)	2019年春季号	小島 輝夫	桜と甲斐駒ヶ岳
2012年新年号	古谷 信夫	どんど焼き	2019年夏季号	小島 輝夫	爽夏の八ヶ岳
2012年春季号	古谷 信夫	老木・枝垂れ桜	2019年秋季号	小島 輝夫	富嶽晩秋
2012年夏季号	古谷 信夫	夏のパワー源「ひまわり」	2020年新年号	小島 輝夫	樹氷と南八ヶ岳
2012年秋季号	古谷 信夫	竜頭の滝	2020年春季号	小島 輝夫	春の彩り
2013年新年号	古谷 信夫	富士山(伊豆の西海岸から)	2020年夏季号	小島 輝夫	盛夏のラ・タブラの大草原
2013年春季号	小島 翠	ファミリー・桜	*オレンジ文字は絵写真(絵画を写真撮影)		
2013年夏季号	小島 翠	アイガー・夏の日			
2013年秋季号	小島 翠	秋			

1-2. 作者プロフィール(当時)

(1) 川島 久枝氏(表紙デザイン) 2001年創刊号(夏季号)～2004年秋季号

アトリエ首里 主宰デザイナー

「能面」の表紙解説 : 美しい面を仕上げるためには、塗膜面を何層にも塗り重ね、木地と塗膜層の一体化を図るための下地を準備しなければならない。能面とは漆塗りお高度な表面処理技術があつて初めて成立し得る芸術、すなわち塗装技術の集大成なのである。美しい能面の下には、脈々と受け継がれ、これからも発展してゆく確かな技術がある。各界から寄せられる様々なパウダーコーティングの技術情報を読者に提供しながら人と科学を結び、伝え、広める媒体を目指す我々は、いにしえより変わらず今も時を照射する能面にパウダーコーティングの未来を見た。

(2) 岡田 智之氏(写真) 2007年新年号～2008年秋季号

①日本パーカライジング(株)OB ②カメラ歴 2007年当時で30年 ③社内報担当従事 ④横浜市民写真教室 終了 ⑤横浜美術展写真の部入選 ⑥神奈川県シルバー美術展写真の部入賞 ⑦日本パーカライジング(株)制作カレンダー写真に掲載 ⑧フォトクラブ「ひまわり写遊会」代表 ⑨ひまわり写遊会写真展を横浜市港南区 区民文化センターギャラリーにて開催

(3) 大沼 清利氏(写真) 2009年新年号～2010年秋季号

①日本ペイント(株、一社)日本塗料工業会 OB ②経団連写真同好会、グループ Syaken 所属 ③写真家(日本写真家協会常務理事)齋藤康一氏、山岳写真家小島輝夫氏の指導を十余年にわたり受ける。④風景写真を通して環境保護の重要性を訴えたいとカメラに向かっている。⑤主な発表場所 : 富士フォトサロン(銀座) 03,05,07年、北海道東川町文化ギャラリー 07年、横浜市新都市ビル(そごう)シビルプラザ 08年 他

(4) 古谷 信夫氏(写真) 2011年新年号～2013年新年号

①日本パーカライジング(株)OB ②パウダー協発足時(1996年)から11年間理事を務める。③2007年2月「Canon Photo Circle」入会 ④2007年7月～2008年3月 Canon EOS 学園・撮影テクニック講座デジタル上級コース終了 ⑤2008年12月～2010年11月 Canon EDS 学園・通信添削講座終了 ⑥2010年6月&12月 Canon 月例コンテスト入選

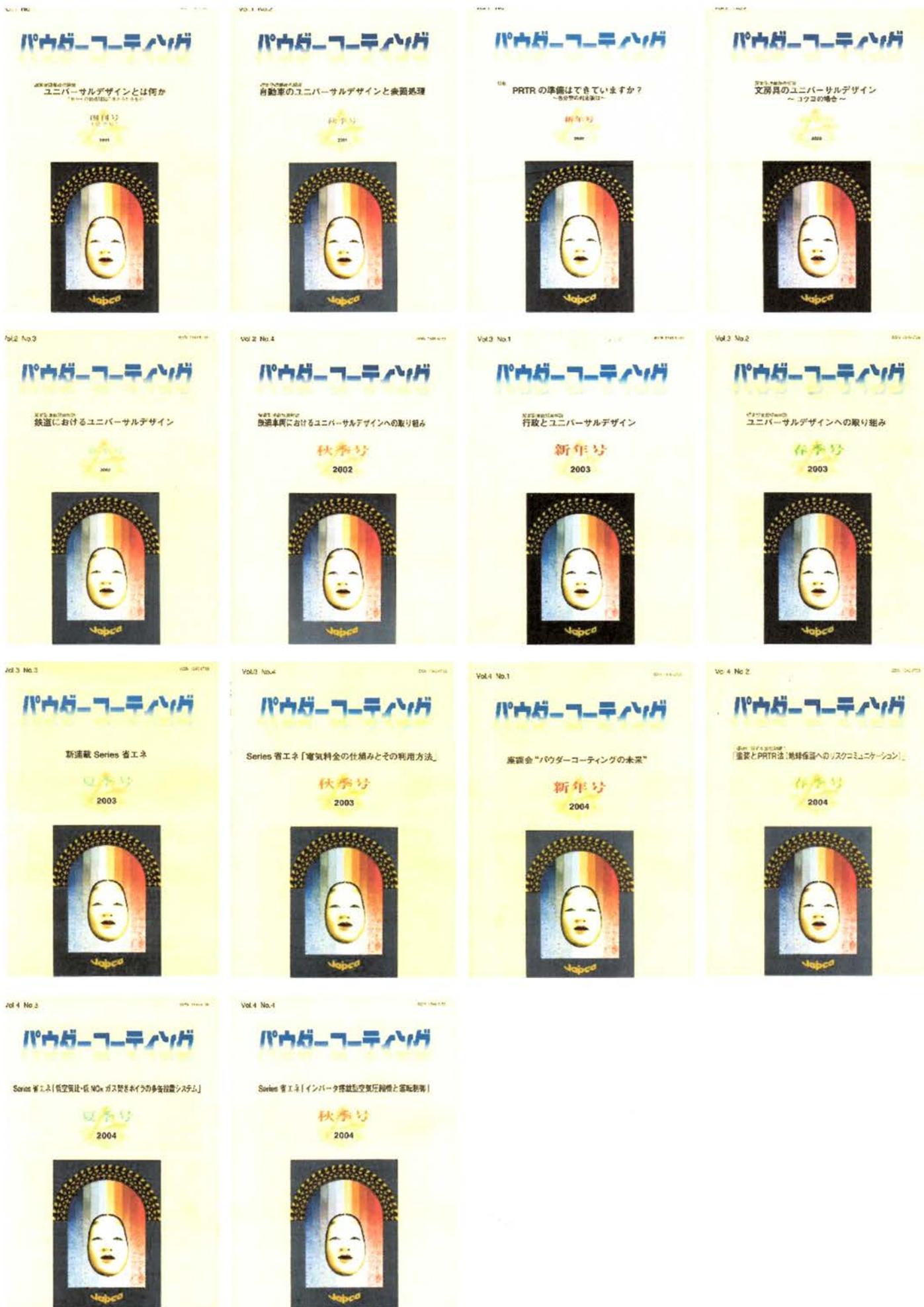
(5) 小島 翠氏(絵画・油彩) 絵画写真は小島輝夫氏が行う。 2013年春季号～2015年新年号

①1942年東京生まれ、66年より横浜市在住 ②97年 横浜美術展初入選、03,05,07年 神奈川県展入選、09年 横浜美術展会員、旺玄会展にて、09年損保ジャパン美術財団奨励賞、11年文部科学大臣賞を受賞 ③小島輝夫氏夫人

(6) 小島 輝夫氏(写真) 2005年新年号～2006年秋季号 及び 2015年夏季号より現在に至る

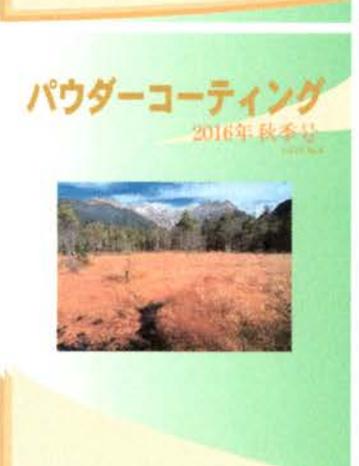
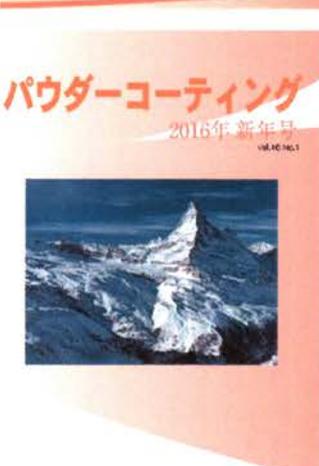
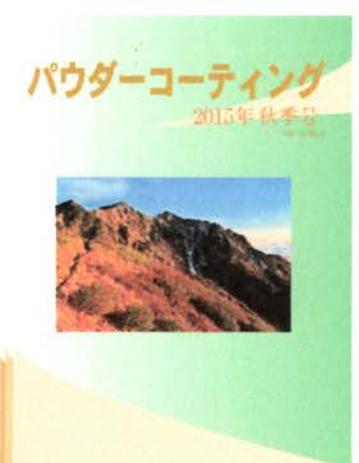
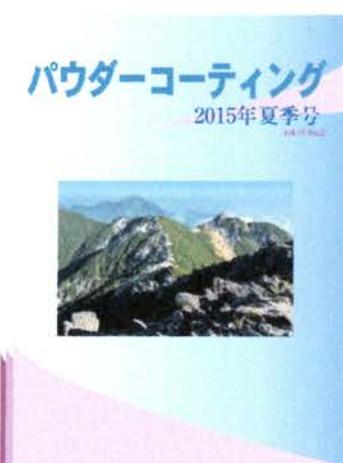
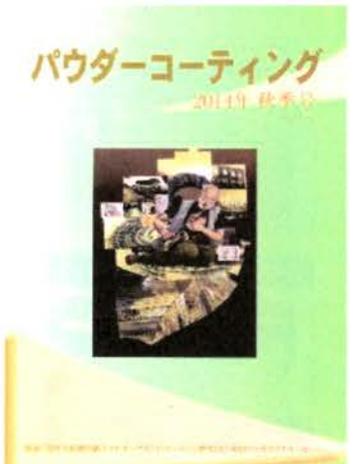
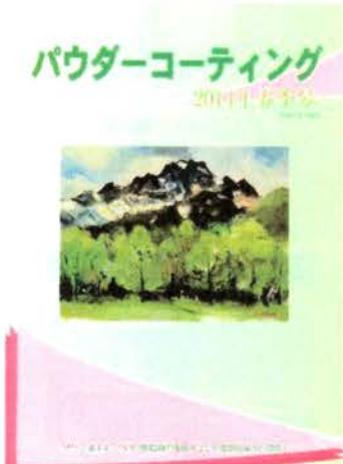
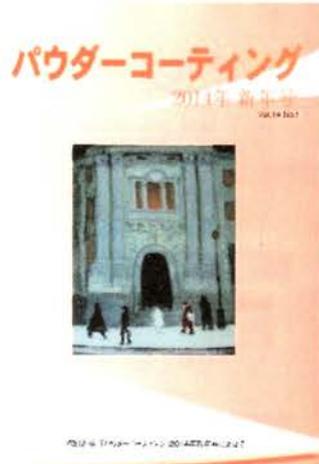
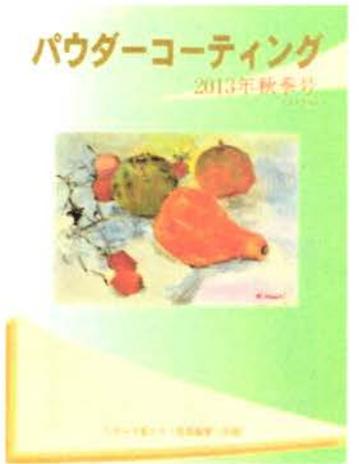
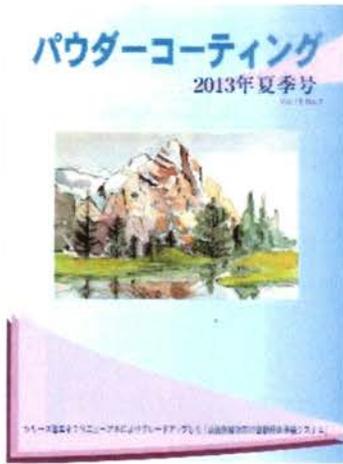
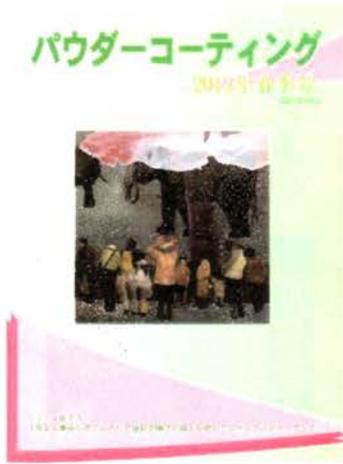
2020年現在のプロフィール

①日本ペイントHD OB ②カメラ歴 45年 ③山岳写真、風景写真を主に撮影 ④写真授賞歴 日本山岳写真コンテスト白簾史朗賞グランプリ 他多数 ⑤山と溪谷社 大判山岳カレンダーに毎年数点採用掲載される。⑤山岳写真個展3回 グループ展6回











2. 歴代広告掲載企業一覧

(開始年～最終広告掲載年)

① 2015年夏季号(WEB化)以降

・(株)アック	2001年～現在(年間)	・(株)板通	2001年～現在(年間)
・久保孝ペイント(株)	2001年～現在(年間)	・(株)三王	2001年～現在(年間)
・城南コーテック(株)	2001年～現在(年間)	・大日本塗料(株)	2001年～現在(年間)
・筒井工業(株)	2001年～現在(年間)	・ナトコ(株)	2001年～現在(年間)
・(株)明希	2001年～現在(年間)	・横浜化成(株)	2001年～現在(年間)
・ロックペイント(株)	2001年～現在(年間)	・日本パーカライジング(株)* ¹	2001年～2017年3月
・AGC(株)* ²	2005年～現在(年間)	パーカーエンジニアリング(株)	2017年4月～現在(年間)
・(株)小野運送店	2011年～現在(年間)	・グラコ(株)GEMA事業部	2015年夏～現在(年間)
・(株)ケット科学研究所	2007年～現在(年間)	・日本ペイント(株)* ³	2002年～現在(年間)
・(株)マルシン	2015年～現在(年間)	以上年間契約企業18社	
・旭サナック(株)	2002年～現在(年2回)	・ノードソン(株)	2004年～現在(年1～2回)
・ホソカワミクロンワグナー(株)	2001年～現在(現在は年1～2回)	・(株)桂精機製作所	2001年～2018年
・一財)日本エルピーガス 機器検査協会	2001年～現在(現在は年1回)	・三洋塗装工業(株)	2008年～2015年
		以上2015年以降一般で掲載させていただいた企業	

*¹ 日本パーカライジング(株)アイオニクス部は2017年4月にパーカーエンジニアリング(株)に統合。

*² 旭硝子(株)は2018年7月からAGC(株)に社名変更

*³ 2015年に日本ペイントインダストリアルコーティングス(株)(NPIU)は工業用塗料専門メーカーとして独立
現在はNPIUにて年間契約をしている。

② 2001年創刊号(夏季号)～2015年新年号

②-1：創刊号にて掲載の企業(①企業は除く)

・安治川鉄工(株)	2001年～2004年新	・(株)英布	2001年～2002年夏
・(株)エムス昭和電工 (2005年よりエムスケミージャパン(株)として)	2001年～2013年秋	・(株)監査システム技術開発 研究所	2001年～2007年春
・岸本塗装工業(株)	2001年～2004年新	・(株)グリーンム	2001年～2010年新
・(株)コーエイ	2001年創刊のみ	・スガ試験機(株)	2001年創刊のみ
・(株)セイシン企業	2001年～2003年夏	・積水樹脂(株)	2001年～2003年夏
・タイガドライラックジャパン(株)	2001年～2002年新	・ダイテック(株)	2001年～2002年春
・タケダ化成(株)	2001年創刊のみ	・東亜合成(株)	2001年～2014年夏
・(株)トップ工業	2001年～2003年新	・日栄産業(株)	2001年～2002年新
・(株)日鉄技術情報センター	2001年～2010年秋	・(株)日鐵テクノロジーサーチ	2001年～2005年新
・パーカー加工(株)	2001年～2008年秋	・光塗装工業(株)	2001年～2013年春
・二葉興産(株)	2001年～2003年夏	・松尾産業(株)	2001年～2002年新
・(株)横浜樹脂コート	2001年～2008年春	・ヨシモトポール(株)	2001年～2014年春
・ランズバーグインダストリー(株)	2001年～2015年新		

②-2：2001年秋季号～2015年新年号

・アネスト岩田(株)	2003年秋～2005年夏	・液化炭酸(株)	2004年春のみ
・(株)大塚商会	2009年秋のみ	・楠本化成(株)	2002年新のみ
・コープラント(株)	2002年新～2002年春	・(株)サンコウ電子研究所	2003年春～2008年新
・ジョータン粉体塗料タイ	2004年秋のみ	・(株)シンマテリアル	2009年秋～2011年夏
・(株)サンコウ電子研究所	2003年春～2008年新	・ジョータン粉体塗料タイ	2004年秋のみ
・スリーアールシステムズ(株)	2002年新のみ	・セイコーインスツルメンツ(株)	2002年夏のみ
・ダイセルサイテック(株)	2005年秋～2008年秋	・ダイセルユーシービー(株)	2002年新～2005年夏
・中島商会(株)	2002年夏のみ	・ヘレウス(株)	2002年新～2002年秋
・マテリアルサイエンス(株)	2005年秋～2010年新	・ロックウール工業会	2009年新のみ
・PPGジャパン(株)	2005年新～2007年春	・(株)大塚商会	2009年秋のみ

現在広告を掲載いただいております企業の皆様、これまで歴代広告を一度でも掲載いただいた企業の皆様、パウダー誌の発行に際しまして多大な御援助・ご協力厚く感謝申し上げます。

3. 歴代「パウダーコーティング」誌編集委員

委員氏名	委員所属先	就任期間	備考
◎河合 宏紀	カワイEMI	2001年創刊-現在	編集委員長
青木 美津好	(株)コーティングメディア	2001年創刊-2012年秋	後任に桜井氏
桜井 智洋	(株)コーティングメディア	2013年新-現在	
新井 仁	スリーアールシステムズ(株)	2001年創刊-2003年新	
壺岐 富士夫	現日鉄防食(株)	2002年夏-現在	
植原 和博	日本ペイント(株)	2001年創刊-2004年春	後任に中塚氏
中塚 徹	日本ペイント(株)	2004年夏-2006年春	後任に上野氏
上野 太三郎	日本ペイント(株)	2006年夏-2007年秋	後任に岸田氏
岸田 貴仁	日本ペイント(株)	2008年新-2008年春	後任に中塚氏
中塚 徹(再)	日本ペイント(株)	2008年夏-2012年春	後任に野村氏
野村 孝仁	日本ペイント(株)、NPIU(2015年以降)	2012年夏-現在	
小澤 信一郎	横浜化成(株)	2001年創刊-2015年夏	
坂内 恒雄	日産自動車(株)	2001年創刊-2001年秋	後任に荒川氏
荒川 孝	日産自動車(株)	2002年新-2017年春	
竹内 学	茨城大学名誉教授	2001年創刊-現在	(粉体塗装研究会会長)
徳田 晋一	日栄産業(株)	2001年創刊-2002年春	
羽柴 昌司	旭化成工業(株)(当時)	2001年創刊-2002年春	
半田 隆夫	東日本電信電話(株)(当時)	2001年創刊-2003年春	
矢崎 陽一	スリーアールシステムズ(株)	2001年創刊-2005年新	
館野 治代	*	2001年創刊-現在	制作・進行
伊藤 春揮	旭サナック(株)	2002年夏-2003年秋	塗装機関係後任に林氏
林 博	ランズバーグインダストリー(株)	2005年春-2010年新	後任に檜部氏
檜部 泰	ランズバーグインダストリー(株)	2010年春-2011年春	塗装機関係後任に柳田氏
柳田 建三	旭サナック(株)	2011年夏-現在	
大西 和彦	関西ペイント(株)	2002年夏-2009年春	後任に佐川氏
佐川 千明	関西ペイント(株)	2009年夏-現在	
藤岡 聖	日本パーカライジング(株)	2002年夏-2017年秋	後任に野本氏
野本 壮一	日本パーカライジング(株)	2018年新-2018年夏	後任に下田氏
下田 健介	日本パーカライジング(株)	2018年秋-2019年秋	後任に吉田氏
吉田 誠二	日本パーカライジング(株)	2020年新-現在	

◎ 編集委員長

* 制作進行の館野氏は2013年まで(株)日鉄技術情報センター、以後フリーランス

青字 : 創刊号時編集委員(河合先生、竹内先生、館野氏の3名は創刊より現在に至る)

赤字 : 現在編集委員

表紙解説

表紙絵画：小島輝夫

表紙写真

「盛夏のラ・タブラの大草原」

リフトを降りて5分ほど牧草を登るとドロミテの雄大な絶景が眼前に広がった。まだ刈り取り前の花の咲く牧草草原の起伏の上に、ラバレイラの岩岳が夏雲の下に連なって壮大な眺めでした。北イタリア/コルバラにて

パウダーコーティング

ISSN 1346-6739

2020年7月21日 Vol.20 No.3

発行所：日本パウダーコーティング協同組合(JAPCA)

東京都港区芝5-31-16 YCCビル9F

TEL: 03-3451-8555 FAX: 03-3451-9155

URL: <http://www.powder-coating.or.jp>

制作：パウダーコーティング誌制作部

©2020 日本パウダーコーティング協同組合

本誌に記載されたすべての記事内容について、日本パウダーコーティング協同組合の許可なく転載・複写することを禁じる。

番外

北部九州(福岡)温泉めぐり 2

この6月25日から久しぶりに福岡に帰省し、ローカル線で26日に田川郡赤村の「源じいの森温泉」に行ってきました。私の故郷からはJR後藤寺線(新飯塚駅⇒田川後藤寺駅、JR日田英彦山線(田川後藤寺駅⇒田川伊田駅)、平成筑豊鉄道(私鉄)伊田駅⇒源じいの森温泉駅 ⇒ 駅から歩いて3分。ものすごい田舎です。しかし、森林浴・温泉浴両方ができる所です。お近くにお越しの節は参考にさせていただければ幸いです。片道2時間もかかりましたが空気も良く命の洗濯をしてきました。

(6)源じいの森温泉 No. は2019年秋季号の続きナンバーです。

福岡県田川郡赤村大字赤5251-3 人口3000人弱の村です。



温泉施設全景(源じいの森の中の施設)



温泉入口



内庭



湯浴場入口



すぐ近くの駅の道



源じいの森の中の施設



ひなびた駅(当然無人)



平成筑豊鉄道気動車



田川郡赤村のガイドマップ



JR後藤寺線ローカル気動車

パウダーコーティング ISSN 1346-6739
二〇二〇年七月二十一日 Vol.20 No.3
定価 二〇〇〇円

発行：日本パウダーコーティング協同組合 (JAPCA)
東京都港区芝五丁目一六 YCCビル
制作：パウダーコーティング誌制作部